

議
会
だ
よ
り

う

ち

こ

vol. 56
令和8年2月
発行

火災・地震多発！
暮らしの中に防災意識を！ P12 P14

10月臨時会・12月定例会 P2 ~ P3

常任委員会 P4 ~ P5

一般質問(5名) P6 ~ P11

研修報告 P12 ~ P13

【うまい！うまい！その調子！】

モデル：「雪は友だちinソルフレ」に
参加した徳山 碧 君



10月臨時会

第151回臨時会が10月22日に開催されました。

12月定例会

第152回定例会が12月2日から12日までの11日間の会期で開催されました。

議案
◎第76号 令和6年災 16・101
宮ノ下頭首工災害復旧工事に係る工事請負契約 5031万円



復旧工事が行われる宮ノ下頭首工

全会一致で
可決

- 2日 町長招集挨拶及び行政報告
議案提案
● 発議1件
● 条例制定1件
● 条例改正9件
● 指定管理者指定1件
● 補正予算7件
● 人事案件4件
議決(5件)
議会広報常任委員会
一般質問(5議員)
総務文教常任委員会
産業建設厚生常任委員会
産業建設厚生常任委員会
予算決算常任委員会
全員協議会
各委員長から審査報告
議決(18件)

「議会だより」では、議案などを抜粋して掲載します。

【議案】 発議、人事案件以外は各委員会に付託され、審査及び採決後、12日に議決されました。委員会での審査内容は4～5ページに抜粋掲載

◆全会一致で受理・認定・可決された議案

付託先
(総)総務文教常任委員会
(産)産業建設厚生常任委員会
(予)予算決算常任委員会

- 発議
◎内子町議会会議規則の一部改正
- 条例の制定
◎内子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(産)4ページ
- 条例の改正
◎内子町普通公園条例の一部改正 ほか3件(産)4ページ
◎内子町職員の給与に関する条例の一部改正 ほか4件(総)4ページ
- 指定管理者の指定
◎内子町歴史観光交流拠点施設の指定管理者の指定(産)
- 補正予算
◎令和7年度内子町一般会計補正予算(第4号)ほか6補正予算(予)5ページ
- 人事案件
◎内子町教育委員会委員の任命
◎内子町固定資産評価審査委員会委員の選任 3件

全議案
全会一致
可決

令和7年度前期(4～9月)財務監査の監査委員報告



監査委員 久保 美博
代表監査委員 赤穂 英一

地方自治法第199条第4項及び内子町監査基準に基づく財務監査を実施した結果、**一般会計、特別会計及び公営企業会計の各種事業は、前期(4～9月)において全体的には大きな問題もなく進捗しており、執行内容も概ね適正に処理されていると認めた。**
評価できる事項も多くあったが、今後、留意・検討されたい事項も見受けられた。主な意見は、次のとおり。

委託料、工事請負費について、競争性・透明性・経済性を踏まえた競争入札や見積り合わせが行われており、適正に予算執行がされていた。プロポーザル形式の企画競争入札は、法令等に基づき審査は適正に行われていた。低入札事案は、必要な調査会を開催し、適正に執行されていた。指名競争入札事案も多く確認され、適正に指名決定されていたが、引き続き指名業者選定理由等をしつかりと決裁文書に記録されたい。

他の自治体では、近年入札に関連した不正事件が後を絶たない。対岸の火事と捉えず、法令遵守と管理者の事務管理を一層徹底されたい。

施設・設備の管理について、「内子町地域防災計画」や内閣府「避難等に関

するガイドライン」を基本に、「避難指示等に関する判断・伝達マニュアル」をはじめ各種マニュアルを作成し、緊急時に的確な対応ができる体制となっている。①南海トラフ巨大地震が予想されており、必要な耐震診断や耐震改修、②利用が低調な施設の課題解決に向けた努力、③身体障がい者・高齢者・児童への配慮などに努められたい。

情報化・ICT化について、①抜き打ちメールを使った情報セキュリティの体験型訓練、②個人情報に関する安全管理措置研修、③個人情報自己点検、④担当部署による実地監査など、効果的な取り組みがされており高く評価できる。引き続き、各種施策について厳正に実施し、内部監査や自己点検が形骸化しないよう取り組まれたい。

補助及び交付金について、各種団体の活動を支援奨励することは、地域の活力や人材育成、町行政の円滑な推進のためにも重要である。活動実態・実績を的確に反映し補助金の見直し等に取り組んでおり、評価できる。各団体等の補助額の審査や査定が前年踏襲で形式的となり、大切なことが見落とされたいか留意し、今後、各団体の指導と育成に努められたい。



財務監査の様子(10月21～29日実施)

後期(10～3月)においても引き続き、各種課題に的確に対応されたい。

総務文教常任委員会

人事院勧告に伴う関係条例の一部改正

問 通勤手当の改定がされているが、現在、町外から通勤している職員の実数は何名いるのか。

答 総務課
町外から通勤している職員の内数は、現時点で29名である。

問 町外から通勤している職員の住民税はどこで課税されるのか。

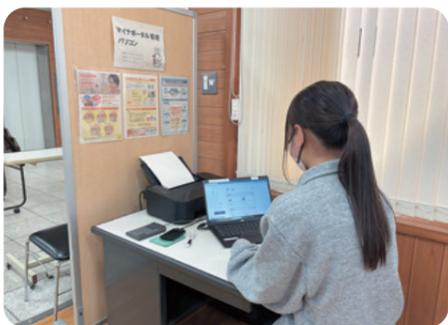
答 総務課
住民税は、1月1日時点で住民票が置かれている市町村で課税されるため、町外通勤者については居住地での課税となる。ただし、ふるさと納税について協力依頼をしており納税の実績もある。

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づくシステムの標準化に伴う条例の一部改正

問 個人情報の閲覧や利用の記録はどのように管理されているのか。

答 企画情報課
マイナポータルで自分の情報の利用履歴を確認できるほか、公務

における閲覧・利用は厳格に記録・管理され、適正な運用が求められる。罰則も設けられている。



本庁、総合窓口センター、小田支所にマイナポータル確認用端末があります



スマートフォンにアプリをダウンロードして利用することもできます

委員会での採決は、

可決

産業建設厚生常任委員会

内子町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行による児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるための条例制定

問 どのような利用者を対象に、どのくらいの利用を見込んでいるのか。

答 子ども支援課
この事業は、子どもの成長支援を目的とし、保護者の都合は関係なく利用したいときに利用できる制度である。対象は、保育園等に通園していない方で、具体的には、一時預かり事業の利用者や入園時の慣らし保育を希望する親子などを想定しており、月あたりおおよそ6名から7名程度を見込んでいる。

児童福祉法等、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴う関係条例の改正

問 町内に家庭的保育事業を実施している事業者はあるのか。

答 子ども支援課
町内には該当する施設・事業者はない。

新たに「坂町ひろば」を設置するための普通公園条例の一部改正

問 公園の維持管理は。

答 町並・地域振興課
当面、町が管理するが、今後、花壇等の維持管理については地域団体やボランティアなどの協力を検討したい。



完成した「坂町ひろば」

委員会での採決は、

可決

予算決算常任委員会

◎令和7年度内子町
一般会計補正予算(第4号)

人事院勧告にもなう人件費の調整と、「防災・安全安心づくり」「障がい福祉などにかかる政策」等についての補正予算

うち子育て支援事業 35万円

問 当初の見込みより児童数が増えたのか、今年度はどの程度見込んでいるのか。

答 子ども支援課
有効期限が公布年度の翌年度までであり、令和6年度に生まれた子どもも対象となる。令和5年度と6年度を比較すると交付対象者は19名増えており、利用時期による差はあるものの、当初見込みより増加傾向にあると分析している。

粗大ごみ等の収集運搬処分業務委託料 108万円

問 9月末時点で予算をほぼ執行しているところがあるが、その要因をどう捉えているのか。

答 環境政策室

粗大ごみの申し込みは、近年増加傾向にある。特に今年度は、10月1日から家電4品目を粗大ごみ

の対象外としたため、申込が9月末までに集中し、結果として予算残額が当初見込みより少なくなっている。

災害による農道6路線の崩土や倒木の除去などに要する修繕費 155万円

問 災害対策として、復旧対策と事前の予防対策についてどのようなことを考えているのか。

答 建設デザイン課
今回、生活道路の通行確保を優先し、崩壊により通行に支障をきたした箇所は復旧・修繕を要する災害対策として予算を計上している。事前の予防対策については、公共道路用地内などに関して状況により対応可能であるが、私有地にある立木の伐採については所有者の同意が必要であり、すべてを網羅するのは難しい。現時点では、復旧費を基本に予算化している。



太田城遺物再評価プロジェクト企画経費 25万円

問 プロジェクトの概要と予算内容の説明を。

答 自治・学習課
現在の小田・城の台公園は中世の山城「太田城」という歴史があり、約30年前の大規模発掘調査で出土された遺物は、当時の暮らしを知る上で考古学的に貴重な資料であることが判明した。本事業は、こうした貴重な文化財を広く周知することを目的としており、出土品や復元品の展示費用のほか、茶の湯をとおして当時の暮らしを体験する企画に係る経費として予算計上している。



12月に開催されたふるさと学のスヌメ「小田・太田城が伝える戦国の暮らし」展

◎令和7年度

内子町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号)

「子ども・子育て支援金」制度施行に向けたシステム改修 145万円

問 改修内容はどのようなものか。

答 住民課
愛媛県広域連合が県内全域の保険料等を算定する基盤システムと、広域連合とのデータ連携を担当する各市町が利用するシステムの改修で、当町分の改修費を予算計上している。

◎令和7年度

内子高等学校小田分校寄宿舎特別会計補正予算(第1号)

無線LAN環境整備費用 279万円

問 無線LANの利用範囲や制限はどのようになっているのか。

答 小田支所
制限等は特段設けておらず、帰宅後の個人の時間における携帯電話やパソコンでの利用を想定している。

委員会での採決は、

可決

町政を問う！

内子町ホームページ「議会事務局」



内子町議会インターネット配信



【質問通告書内容】

森永 和夫 議員 ……
◎地方創生1.0 ◎地方創生2.0 ◎日本版CCRC2.0 ◎関係人口の創出 ◎ゼロカーボンシティ

松田 修 議員 ……
◎自治会の現状 ◎町のガバナンス ◎森林経営管理制度 ◎内子町内のタフシーの営業時間

城戸 司 議員 ……
◎景観まちづくり

下野 安彦 議員 ……
◎地域交通対策 ◎キャラクターモニユメントで夢の龍王公園に

向井 一富 議員 ……
◎ふるさと納税 ◎人口減少対策 ◎高市発言によるインバウンドへの影響は ◎ドローン隊の結成 ◎ふるさと住民制度



小田地区でつくられた門松

地方創生2.0の取り組みを問う



もりなが かずお 議員

問 地方での人口の移動といううなことにもつながっていると感している。そういう面はいかがなものかと感じている。

答 地方創生2.0の基本構想では、その考え方が「人口減少を押しとどめる」から「人口減少が続くことを正面から受けとめ、適応策を講じる」に変更されるなど、地方創生1.0の反省が活かされた内容で、より実態を捉えた内容になったというふうに感じている。

問 地方創生2.0の評価は。

答 地方創生2.0の基本的構想では、その考え方が「人口減少を押しとどめる」から「人口減少が続くことを正面から受けとめ、適応策を講じる」に変更されるなど、地方創生1.0の反省が活かされた内容で、より実態を捉えた内容になったというふうに感じている。

問 若者や女性にも選ばれる地域づくりには何が必要か。

答 美しい景観形成、子育て環境や教育環境の充実、働く場の提供や働きやすい環境の整備、医療や福祉の充実、防災対策、デジタル技術を含むインフラの整備など、広範な取り組みに加え、移住者等を受け入れるための環境整備も必要になると考える。

問 地方公共団体間での人口の奪い合いにつながったという面があるがどう思うか。

答 人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口一極集中を是正するための実行計画として、平成28年3月に「内子まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、様々な角度から総合的にまちの魅力を高め、「内子町で暮らしたい」と思っただけで町をつくることで、人口減少や少子化へ対応をしてきた。一定の成果を得られていると考えるが、人口減少に歯止めをかけるには至っていない。

問 人口や生産年齢人口が減少して、地域経済や住民の基本的な生活を支える仕組みをこれまでと同じように機能させることができるのか。

答 人口減少が進むなかで、いろんな産業を担っていただけの方を確保することが必要である。

問 関係人口の創出に向けての具体的な取り組みは。

答 ローテンプルク市や沖縄宜野座との人的交流や文化交流、ふるさと納税寄付者に対する広報紙の送付、首都圏での特産物販売やPR、お試しテレワーク及び企業ワーケーション受け入れ事業、元氣な集落づくり応援団事業などにより、関係人口の創出、地域課題の解決を図る。

問 ふるさと住民登録については。

答 内子を応援していただける方を増やしていく取り組みは今後も進める必要がある。

「ゼロカーボンシティ」

問 ゼロカーボンシティの実現に向けて、どう町民へ協力を得ようとしているのか。

答 様々な立場から、自分にできることや他の役割に期待することを考え、多様な意見を反映して、無理なく継続できる実現性の高いアクションプランとなるように、みんなで協議、検討を進めている。



アクションプラン策定市民会議のようす

一般質問の映像配信はこちらから



当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。
議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」【会議録】もしくは「インターネット配信」にて録画映像配信を行っておりますのでこのページをご覧ください。
※会議録のホームページ掲載は「議会だより うちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

厳しい自治会の現状と行政の認識を問う



まつだ おさむ 議員

【自治会について】

問 行政として自治会活動を支援しているが、行政は自治会の役割をどのように考えているのか。

答 第3期内子町総合計画にも記載しているとおり、愛着を持って地域で共生できる町を創造するうえで、重要かつ必要不可欠な制度であると考えている。

問 区入りについては、個人の自由。区入りする場合と入らない場合のメリットとデメリットをどのように考えているのか。

答 加入するメリットは、基本的な情報が行政区を通じて得られる。また、地域への帰属意識が高まることで行事や活動への参加が促進

され、持続可能なコミュニティの形成につながる。

デメリットは、会費の負担や役員、当番を務める際の時間的負担、責任の増加、地域行事への義務的参加や、人間関係の煩わしさに負担を感じる。

加入しない場合のメリットとデメリットは、加入した場合の逆になると考えている。

問 少子高齢化による自治会役員の手不足により、今後の自治会の運営が危惧される。区割りを含めた自治会の再編は想定しているのか。

答 自治会の再編について自治会から再編要望の申し出があった場合、各自治センターが中心となり、再編計画等について自治会の皆様とともに協議していく。

【行政の管理体制】

問 一部地域の町への訴えが担当者にとどまり、上司への報告がなされていない事例があり町の管理体制に対する懸念がある。

答 具体的な改善策として、内部統制のリスク項目に新たに上司への報告事項を追加し、当該職員への指導を行うとともに、すべての部局に対して周知徹底を図り、同様の事態の再発防止に努めていく。

【森林経営者管理制度】

問 森林経営者管理制度の具体的な説明を求めます。

答 森林所有者に対する意向調査。経営や管理の委託の申し出があった森林は、森林所有者から経営管理の委託を受けるもので、経営権の移譲を目的としているものではない。

問 森林経営者を紹介するだけでなく、個人林家に取り組めるような支援策の考えはないのか。

答 現行の補助事業以外の独自の新たな制度については、現時点ですぐに新設するといったことは、今現在は考えていない。

みんなが積極的に参加する「美しい内子」の実現へ



まつだ おさむ 議員

【放置ではなく風光明媚な景観へ】

問 「景観まちづくり計画」の対象地域、対象物は。

答 対象地域は、内子町全域。また、対象物は、景観区域や景観計画区域内における建築物、工

問 自然物は対象に入らないのか。

答 景観重要樹木は、地域の象徴となる樹木が対象。地域のなかでこういう樹木を選定したいというものを指定している。

問 平成25年1月に愛媛県で唯一となる内子町景観農業振興整備計画

を定め、農業を美しい風景や自然環境を作っている重要な要素として位置付け、その営み自体が魅力となるよう、景観と調和する営農や農用地等の保全などの方針を示した。

また、令和元年6月には国から内子町歴史的風致維持向上計画の認定を受け、今後は町並みや棚田、内子座など、代表される内子町の特色ある地域文化を維持向上すべき歴史的風致として定め、守り育てることで地域活性化を図りながら、暮らしの満足度や豊かさの向上にもつなげるとしているが、指定した樹木以外は対象にならないのか。

答 内子町の景観まちづくり計画の目的は、「内子町景観まちづくり計画は、景観法の規定に基づき、町民の合意と参加のもと、内子らしい良好な景観の形成の促進を図るため、やすらぎのある生活空間の創設、豊かな自然環境の保全、地域資源を生かした観光等の地域間交流の促進を目的とする。」としている。

このような考え方のなか、自治会活動等の地域の活動で、自発的に景観を保全していくと考える。



放置された森林

【町内のタフシーの営業時間】

問 町内のタフシーの営業時間が午後7時までとなり、町民の交通手段に不安を感じる。町はこの状況をどう考えているのか。

答 これまでの夜間帯におけるタフシー利用の実態と今後のニーズについて、調査を実施したいと考えている。

その後、公共ライドシェアの可能性も含め、採算性、公共性、安全性などを総合的に判断したい。

問 町民が積極的に参加して「美しい内子をつくる」ためにどのようなことを考えているか。

答 内子の美しい景観や風景が保たれているのは、町民の皆様の積極的な活動や景観に対する意識の高さ、誇りがあるからと認識している。

日々の清掃、自治会や各種団体で取り組むクリーン活動、農林業など、暮らしのなかの営みなどにより、美しい景観や風景は保たれ、維持されていると思っている。

加えて、景観まちづくり計画などに基づき、住民、事業者、行政が良好な景観の形成及び保全について連携し、協働していることも忘れてはならない。今後も協力し、美しい景観や風景を創造していきたい。



町道にまで伸びた雑草

一般質問の映像配信はこちらから



一般質問の映像配信はこちらから



龍王公園にモニュメント設置で子どもたちにも夢を！



安彦 議員

【地域交通対策】

問 小田の立石地区の共助型ライドシェアと内子・五十崎地区市街地でのまちなか乗合タクシーのチョイソコうちこの利用状況や評判はどうか。

答 共助型ライドシェアは、現在8名の地域住民がドライバーとして登録をして運行を行っている。10月の利用実績は延べ24人で、導入前の直近3年間の月平均利用者数13人と比べて、利用者が増加している。利用者からは、「顔なじみのドライバーが送迎してくれるので安心」「車内での会話が弾み、楽しく利用できる」といった声が寄せられており、定期券を購入される方もあり、一定の継続利用が見込まれる。まちなか乗合タクシーは、利用



まちなか乗合タクシー「チョイソコ」うちこ

登録者数が62人、10月の利用実績は延べ132人である。1日の運行は、片道換算で平均6回運行しており、主な降車場所は、スーパーや病院、道の駅、金融機関、役場などとなっている。「外出がとても楽になった」「家族に送迎を頼んでいたが、自由に出かけられて助かる」「道の駅へ1年ぶりに行って、これから出かけるのが楽しみにになった」といった意見が寄せられており、両事業に一定の需要があることが確認できた。今後も、自治会やサロンなどを通じて周知を継続し、さらなる利用促進と定着化を図っていく。

問 池田タクシーが11月1日から午後7時以降の営業を中止された。午後7時以降にJR内子駅にタクシーが1台も停まっていけない町の観光イメージ、飲食をしてから利用していた町民や飲食業者への影響など、行政としての対策をどう考えているか。

事業者と協議をし、公共ライドシェアとして夜間運行のタクシー事業の考えはないか。

答 夜間の運行を取りやめる要因はドライバー不足だけでなく、乗車する人がいないことが大きな問題。コロナ禍を境にして生活スタイルが変わった。おそらく誰がやっても赤字になる。そのあたりをどう考えていくか、どういう方法が一番良いのか検討している最中である。

【キャラクターモニュメントで夢の龍王公園に】

問 産業建設厚生常任委員会の研修で立ち寄った富山県高岡市にある「おとぎの森公園」には、漫画ドラえもんの中で描かれている「ドラえもんの空き地」が再現されていた。子どもたちや保護者にとって、



おとぎの森公園のモニュメント

一般質問の映像配信はこちらから



第3期総合計画に基づき、堅実なまちづくりの実行



向井 議員

【ふるさと納税】

問 3月議会でも小野植町長が、ふるさと納税は1億円を目指したいと答弁されていたが、現状を問う。

答 現在、寄付額1億円を達成するため、事業者戸別訪問による返礼品の確保、寄付者を誘導するためのふるさと納税総合サイトに追加、サイト内の返礼品写真のデザイン変更、事業者や返礼品の魅力を紹介するまごころ通信の送付など、できる限りの取り組みを進めている。

さらに、ふるさと納税中間事業者の見直しを行うためのプロポーザル審査を実施し、現在、最優秀事業者と契約に向けて、詰め作業を行っており、現在進行中の中間事業者との契約が整えば、新たな体制で町内に潜在する返礼品の

開発、購入意欲を刺激するサイト内での見せ方など、中間事業者が持つノウハウを最大限に活用し、寄付額増加に取り組む。

問 内子町民が、他の県や町などに納税をされている人数、金額は把握できているのか。

答 ふるさと納税をしていただいた寄付額と、出ていった寄付額については、相殺してもプラスである。

【人口減少対策】

問 2050年までに全国の約2割の地域が無居住化、自治体サービスの維持が困難になる恐れがあると言われている。こうした地域は消滅可能性自治体と呼ばれ、全国的な課題となってきた。そこで、そのことに歯止めをかける圧倒的な施策を打つ必要があると考えるが、町の考えを問う。

答 第3期総合計画に掲げる事業を推進し、様々な角度から町の魅力を総合的に高めることで、移住者や定住者の確保を促進する取り

組みを継続するとともに、関係人口の創出に目を向け、地方創生2.0のなかの関係人口を活かした都市と地域の支え合いが実現できるような取り組みに力を入れていきたい。

【首相の台湾有事は日本の「存立危機」発言のインバウンドへの影響は】

問 高市総理大臣が、台湾有事をめぐって「存立危機事態になりうる」と国会で答弁したことに対して、中国側が強く反発している。そのことに関して、町の観光への影響を問う。

答 町としても、インバウンド客の来訪は、地域経済を支える重要な要素である内子町観光振興計画では、松山空港の直行便を活かし、韓国、台湾など東アジア圏の近距離市場を重点ターゲットのひとつとして位置付けていて、歴史文化や町並み景観を評価する欧米豪などの個人旅行者も重要なターゲットとしており、多様な国、地域に向けた誘客が町の強みとなっていく。

【ドローン隊の結成について】

問 規制緩和によりドローン仕様が多岐にわたり、急速に広がってきた。物事を空から確認でき、熱感知機能を使えば、行方不明者の捜索、猪等の野獣の確認、危機対策、災害時等の現地確認がいち早く実現する。多岐にわたって有効な取り組みが可能になる。消防団にドローン隊を設置してはどうか。

答 消防団活動でのドローン活用や配備、運用について情報収集を行い、消防団と協議、検討していく。



実際に使用されているドローンの一つ

一般質問の映像配信はこちらから



総務文教常任委員会会研修報告

11月18日、長崎県波佐見町において、「消防団におけるドローン導入の取り組み」、「ふるさと納税事業」、19日に佐賀県鹿島市浜町にて肥前浜宿の伝統的建造物群保存地区の視察研修を行った。

波佐見町では、令和3年8月に発生した道路陥没や土砂災害の際、民間によるドローン空撮が迅速な被害状況把握に大きく寄与したことを契機に、消防団へのドローン導入が進められた。実際の火災現場では、水利の位置確認やホース延長の状況を上空からリアルタイムで把握でき、迅速かつ的確な対応につながるという説明を受けた。

また、赤外線センサー搭載機により夜間や霧など視界不良時の捜索活動にも有効であるとのことであり、残火確認の精度向上にも寄与するという。

ドローンは初期導入費こそ高額であるものの、ランニングコストは保険料やバッテリー交換費程度で、必要経費の範囲に収まることだった。内子町でも6名程度が講習を受講予定と伺っており、本町においても災害対応能力向上の観点から導入検討を進める価値が高いと感じた。



3台のドローンを導入

続いてふるさと納税の取り組みについて説明を受けた。波佐見町の寄付額は現在約18億円で推移しており、その約9割を波佐見焼関連の返礼品が占める。リピート率は12%と中規模自治体としては高い水準であり、特に楽天市場のレビューでは全国最高評価を得ている。担当職員は1名であり、外部委託による業務効率化を進めつつ、7年前から波佐見焼に注力したことで「食器ジャンルの先駆者」としての地位を確立したという。その結果、他産地が参入しにくい市場環境を築くことに成功している。

また、寄付者向けに年1回、7万部の情報誌に町からの招待状を同

封しており、これにより2000名以上の来訪者が確認されている。来訪者が生産者と直接交流する機会も生まれ、地域の魅力発信に役立っている。今後は波佐見焼ブランドをさらに強化し、18〜20億円規模の安定的な寄付額維持を目指すとのことだった。加えて、ふるさと納税3.0の考え方に基づき、事業者の新商品開発や設備修繕への補助として寄付金を還元する仕組みづくりにも取り組んでいる。



「波佐見焼」によるふるさと納税の研修

2日目は肥前浜宿を視察した。JR肥前浜駅から伝統的建造物群保存地区を巡り、茅葺き屋根を復元した旧乗田住宅や酒蔵が残る旧長崎街道・多良街道沿いの浜中町八本木宿地区を見学した。



肥前浜宿の伝統的建造物群

近年は古民家を改修した高価格帯宿泊施設が増え、酒蔵ツーリズムを組み合わせた誘客により遠方からの来訪者が増加しているという。

昨年の国スポ開催時には天皇皇后両陛下も訪問、視察され、地域の歴史文化が高く評価されていることが伺えた。

駅には日本酒バーが併設され、一人でも利用しやすい環境づくりがなされているほか、観光列車向けの飲み比べセットも人気を博している。地域住民が中心となって伝建地区を守り、活用しながら発信する取り組みは、本町にとっても学ばべき点が多いと感じた。

産業建設厚生常任委員会研修報告

今年は「伝統的建造物群保存地区」制度創設50周年という節目の年であり、内子町と同様に「商家町」の歴史と「ものづくり」文化が根付く富山県高岡市で11月10日、視察研修を行った。

高岡市の先進的な取り組みから、今後の本町のまちづくりに活かせる知見を得ることを目的とした研修について報告する。



錫を使った工芸品

高岡市は、江戸時代に加賀藩主・前田利長公が鋳物師を呼び寄せ集めて開いた歴史を持ち、交通の要衝として商工業が発展し、高岡銅器や高岡漆器といった伝統工芸が息づくまちである。これらの伝統

技術が現代のライフスタイルに合わせた「フラフト作品」として進化している事例を拜見した。例えば、錫製の酒器や、地元の人藤子・F・不二雄先生にちなんだ「ドラえもん」風鈴、繊細な螺鈿細工のアクセサリーなど、職人の技と創造性に伝統産業の新たな可能性を感じた。

次に、高岡市には3つの重要伝統的建造物群保存地区が選定されている。それぞれの町並みからは、多くの保存と活用方法を学ぶことができた。

今回は、「山町筋」と「金屋町」の2地区を視察した。

「山町筋」は、明治33年の大火から復興した際に建てられた重厚な土蔵造りの町並みが特徴である。かつては土蔵の立て替えが進み、町並みが失われる危機に直面していた。しかし、地域住民の強い声により歴史的町並みは守られてきた。それでも、保存活動が始まる前に失われた建物もあり、その結果、町並みの一部に近代的な建物や空き地が点在する状態が見られる。このことは残念であり、早期の取り組みの重要性を再認識させ

られた。

一方、大型商家をリノベーションした複合商業施設「山町ヴァレー」は、平成29年4月のオープン以降、多様なテナントとイベントで賑わいを創出し、多くの人々を惹きつけている。これは、内子町で進めている森家（仮称）の事業にも通ずるものであり、伝統と現代が融合した魅力的な空間創出の参考になるものであった。

次に、「金屋町」は、鋳物師の町として発展し、千本格子の家並み

が特徴的で、内子の町並みに似た風情を持っている。現在は伝統的な景観を守りながら、空き家となった旧家を飲食店などに活用し、歴史的建物に新たな価値を生み出す取り組みが行われている。伝統的な景観を守りつつ、現代のニーズに合った機能を持たせる取り組みは、地域活性化にとって重要な視点であると考えられる。

さらに、高岡市は2つの国宝寺院を擁する歴史文化の深さに加え、国民的キャラクター「ドラえもん」の作者である藤子・F・不二雄先生の出身地でもあり、観光資源として活用されている。「おとぎの森公園」の「ドラえもん空き地」を再現した広場は、親子連れで賑わう憩いの場所であると同時に、親しみやすいキャラクターを活かした効果的な地域ブランディングの可能性を感じた。



高岡市での研修の様子



複合商業施設「山町ヴァレー」



「夜間避難訓練」に学ぶ
中央自治会での初の試み

令和6年11月9日に四国全体で約36万戸の停電が発生したことを覚えていますか？20時22分に発生し、21時49分に解消しましたが、約1時間30分、町中は真っ暗、信号機も消えておりプチパニックになりました。その体験から中央自治会では夜間避難訓練を実施しましたので、その様子を紹介します。



停電を想定した暗闇での訓練

「なぜ夜間避難訓練を」避難訓練を行うに至った経緯や実施の様子を、中央自治会 徳田健一会長に伺いました。



簡易トイレの説明を行う徳田会長

停電の発生時刻は、考えてみるとスーパ―はまだ営業時間中だったことに気が付いた。そこで「フジ」に行き事情を聞いてみた。当時は営業時間中だったらしく、レジだけは30分程度のバックアップが作動し、お客さんは無事に清算を済ませて事なきを得たとのことだった。「これが大災害の停電だったら大変なことになっていました。普段から備蓄の備えをしておいた方が良いですよ」との助言だった。

このことがきっかけで中央自治会の役員さんに呼び掛けて今度の避難訓練は「夜間避難訓練」を開催しようということになった。しかし、訓練のための準備は、一切しないでぶっつけ本番ですることにした。

「失敗をするための訓練をしよう」を合言葉に訓練が始まった。早速、トラブルが発生した。肝心の発電機が作動しない。とりあえず懐中電灯で避難住民の安否確認と災害本部への人数確認作業を済ませたが、作業の途中で発電機が正常に作動し、無事に訓練が終了した。発電機の日ごころの点検が大切なことをこの訓練で学んだ。

それにしてもこの訓練を通して地域の皆さん方の関心の高さを改めて感じた。自治会内では元・内子幼稚園を避難所として残してほしいといった声まで上がっている。「要支援」「要介護」の皆さんの避難方法など問題山積だが、防災訓練を繰り返しながら大災害に備えたい。とのことでした。



防災グッズの説明

令和7年11月18日に発生した大分県佐賀関での火災でも近所の人々が声を掛け合い、手を取り合って非難をしたそうです。南海トラフ巨大地震の発生確率が80%以上と発表され、いつ起きてもおかしくありません。夜間避難訓練をしてみてはいかがでしょうか？

全国人権・同和教育研究大会参加報告

令和7年11月29日・30日の2日間、兵庫・大阪を会場とした「第76回全国人権・同和教育研究大会」に参加した。

今回は4つの分科会に分かれて開催されており、第4分科会(人権確立をめざすまちづくり)に参加した。

人権問題は、日頃から自らを考え行動しなければいつまでたっても変化はない。みんなが分け与えて仲良くすることはなかなかできるものではないが、その行為を乗り越えみんなの気持ちを心から表現できることは素晴らしいと感じた。

人権問題は、まだまだ根が深いがゆえに、個人でできること・団体でできること・地域でできること・社会全体で取り組むことを大切にしなければならぬと感じた。

総務文教常任委員会 西口 邦彦



分科会のようす

議会の
主な活動

- 2日 小田の郷ふるさとまつり<議長>
- 3日 伊方町合併20周年記念式典<議長>
- 4日 松野町町制70周年記念式典<議長>
- 10日~11日 産業建設厚生常任委員会行政視察研修(富山県高岡市)
- 12日 第69回町村議会議長全国大会<議長>
- 14日 全員協議会
- 18日~19日 総務文教常任委員会行政視察研修(長崎県波佐見町)
- 22日 小田小学校150周年記念式典<議長>
- 25日 議会運営委員会
- 29日 宇和島市合併20周年記念式典<議長>

- 2日~12日 内子町議会12月定例会
- 2日 議会広報常任委員会
- 5日 総務文教常任委員会、産業建設厚生常任委員会
- 7日 野村ダム改良事業堤体貫通式<議長>
- 8日 予算決算常任委員会、全員協議会
- 13日 ソルファオダ・スキーゲレンデ安全祈願祭<議長>
- 23日 愛媛県町村議会議長会第2回全員協議会(松山市) <議長>
- 25日 議会広報常任委員会
- 大洲地区広域消防事務組合議会定例会(大洲市)
- 大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合議会定例会(大洲市)
- 大洲・喜多衛生事務組合定例会(大洲市)

- 11日 令和8年内子町20歳の記念式
- 14日 議会広報常任委員会
- 16日 全員協議会、議会運営委員会
- 23日 内子町商工会新年懇談会<議長>
- 26日 内子町議会1月臨時会
- 28日 議員スキルアップ研修(東京都)
- 29日 行政視察受け入れ(青森県板柳町、東京都青梅市)

令和7年11月発行(第55号)の中に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

- ◎2ページ (誤)第63号 旧森家住宅改修2期工事(設備工事)
(正)第63号 旧森家住宅改修2期工事(建築主体工事)
- ◎9ページ (誤)令和8年8月 (正)令和7年8月
- ◎18ページ (誤)41名の新入生 (正)81名の新入生

お詫びと訂正

VOICE

～みなさまのこえ～

内子町議会議員 にしぐち 西口 くにひこ 邦彦

自治センター主催のスキー教室に参加した感想

令和8年1月6日(火)「ソルファオダスキーゲレンデ」にて大瀬・小田自治センター主催のスキー交流会が開催されました。大瀬小学校・小田小学校の児童13名が参加し、スキーを楽しく行っていた様子取材しました。

①今年、はじめてスキーをしました。スキーが少しすべれるようになり、止まったり、曲がったり、まっすぐ行ったり、ハの字に開いたり、スキー板を平行にしてすべったりできるようになりました。もっと上手になりたいです。とても楽しい1日になりました。また、ご指導していただきましたインストラクターの方に感謝致します。昼食もおいしかったです。ありがとうございました。

②とても楽しい1日でした。次回も絶対参加します！
など、多くの感想を児童からいただき楽しく和やかな雰囲気でした。



みんなで記念撮影。楽しい一日となりました

【議会だより】モニター様より貴重なご意見が届いています。

モニターをしなかったら目を通さなかった議会だよりですが、見てみると改修された場所や、お金を使った箇所など色々なことがわかる。町内を歩くときなど見る目が変わった。(40代女性)



議会だよりモニター様の役割と使命をご理解していただき、ありがとうございます。

議会だよりは、皆さまと私たち議員が仕事を通じて会話できる大切な「たより」です。

今後とも皆さまの忌憚ないご意見をよろしくお願いたします。

無電柱化がいよいよ始まるのだなと実感しています。美しい景観、防災に強いまちづくりが成功されますように。(60代女性)



ご期待ありがとうございます。先月より第1工区が着工しました。本町商店街全体の完成には数年を要しますが、「快適な歩行空間」「災害に強い避難経路」「美しい景観」の実現に向け、一歩ずつ進めてまいります。工事に伴う交通規制や騒音等でご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

募集中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください!

【QRコード】

内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと交際費を掲載中!



議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集後記

今年の干支は午年で、丙午(ひのえうま)です。丙午は60年に一度めぐってくる特別な年です。力強さや前進を象徴していると言われています。馬の力強さから、活力、前進、成功、繁栄を象徴し「何事もうまくいく」縁起の良い年とも言われています。この干支にあやかり、活力のある一歩前進の町づくり、議会だよりづくりに邁進してまいります。(向井 一富)

【議会広報常任委員会】

委員長/下野 安彦
副委員長/西口 邦彦
委員/向井 一富
委員/城戸 司
委員/松田 修
委員/酒井 勝也

次の定例会は **3月3日(火)**開会予定です。